

auカブコム証券株式会社

2021年3月期 第1四半期

決算説明資料

2020年7月28日



MISSION

すべてのひとに資産形成を。

資産形成が求められる時代に、
機関(プロ)と個人の垣根を越えて、
すべてのひとが、もっと自由で豊かな投資活動が出来る様にします。

Management Vision

ONE AND ONLY

先進性、多様性ファースト。

常にデジタル・トランスフォーメーションし続ける先進性と
変化が激しい時代に対応する多様性を発揮し、
お客さまの投資成績向上を徹底追求します。

3社の強みで、生み出す。

総合金融機関としてのMUFGの信頼、
au・KDDIの持つスマホ経済圏、
そしてIT証券黎明期から脈々と培われたカブコムのデジタルテクノロジー。
タッグを組んだ3社の強みで「他に無い」サービスを生み出します。

決算サマリ(前年比)

- 市況の改善により、トップライン増加。+0.6億円、+1.4%
- 販管費は、取引関係費および、コロナ禍相場を受けたお客様決済不足金による貸倒引当金繰入（6.8億円）により+9.3億円、+30.4%
- 加えて、市況伸長で発生した責任準備金繰入が1.1億円あり、当期純損益は▲8.0億円。
- 貸倒引当金なければ経常利益は7.2億円、準備金なければ、当期純損益4.9億円となった。

(億円)	19Q1	20Q1	増減額	増減率
営業収益	48.7	49.4	+0.6	+1.4%
純営業収益	38.7	40.4	+1.7	+4.5%
販管費	30.6	39.9	+9.3	+30.4%
営業利益	8.1	0.5	▲7.5	▲93.1%
経常利益	8.4	0.6	▲7.7	▲92.7%
当期純損益	5.3	▲2.7	▲8.0	-

市場(億円)

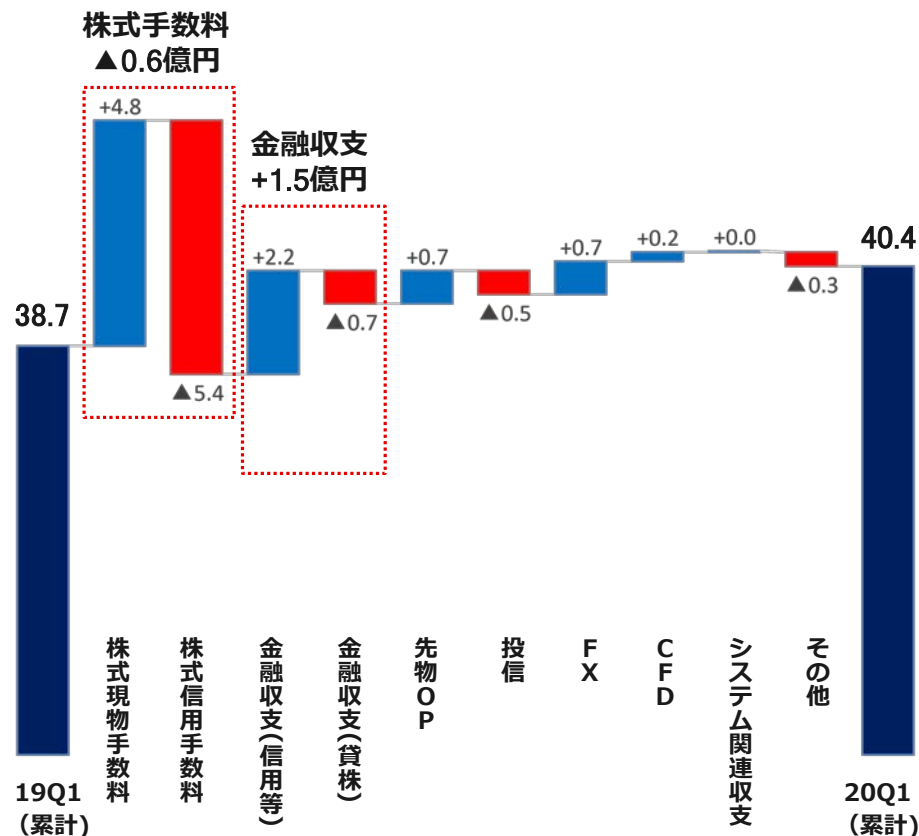
株式等個人委託売買代金/日 19年度比(前年同期平均比較) ※	9,625	14,992	+5,367	+55.8%
信用買残高/週次平残 19年度比(前年同期平均比較)	21,863	19,872	▲1,991	▲9.1%

注) 全ページにおいて%は四捨五入、第二小数点は切り捨て

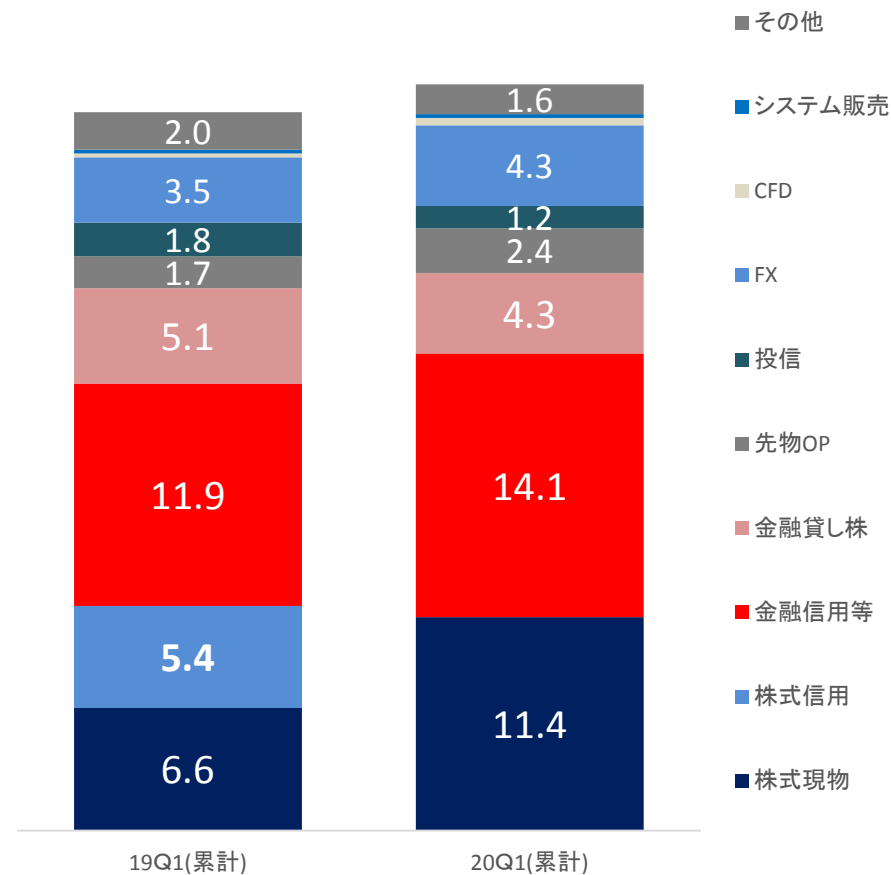
※株式等個人委託売買代金/日は、ETF,REIT含む

- 市況改善、純営業収益は+1.7億円
- 信用手数料無料化により株式委託手数料(現物・信用) は▲0.6億円減少ながら、+1.5億円。

純営業収益増減内訳(億円)



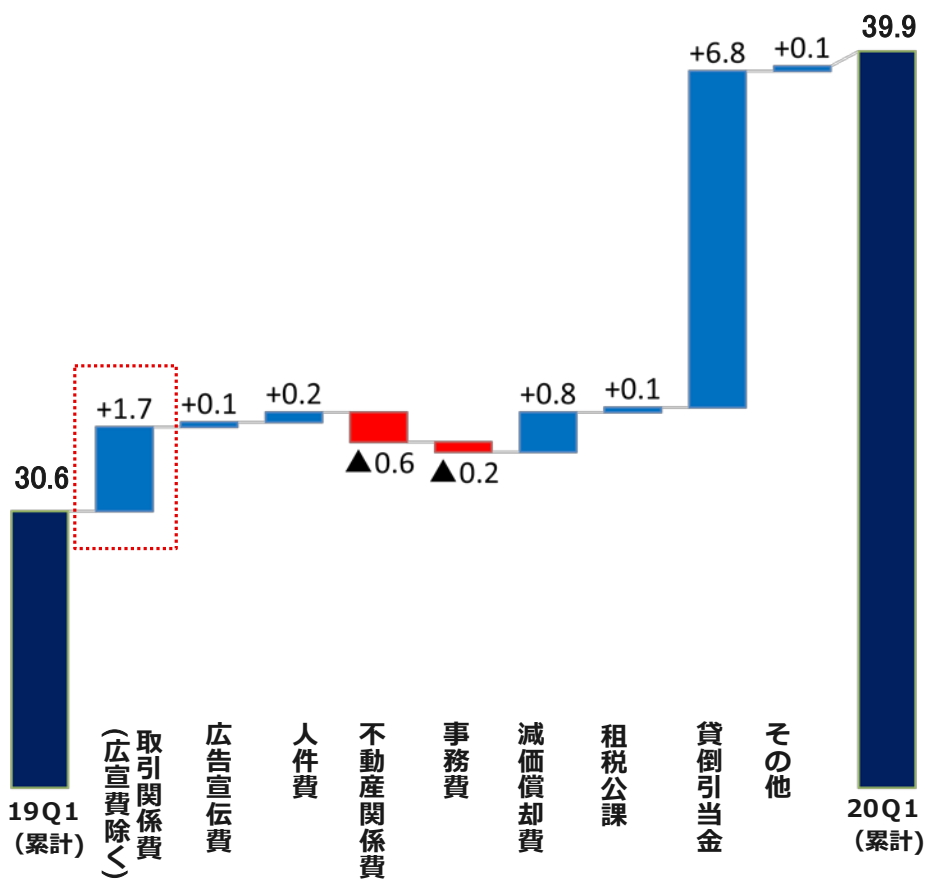
純営業収益内訳構成(億円)



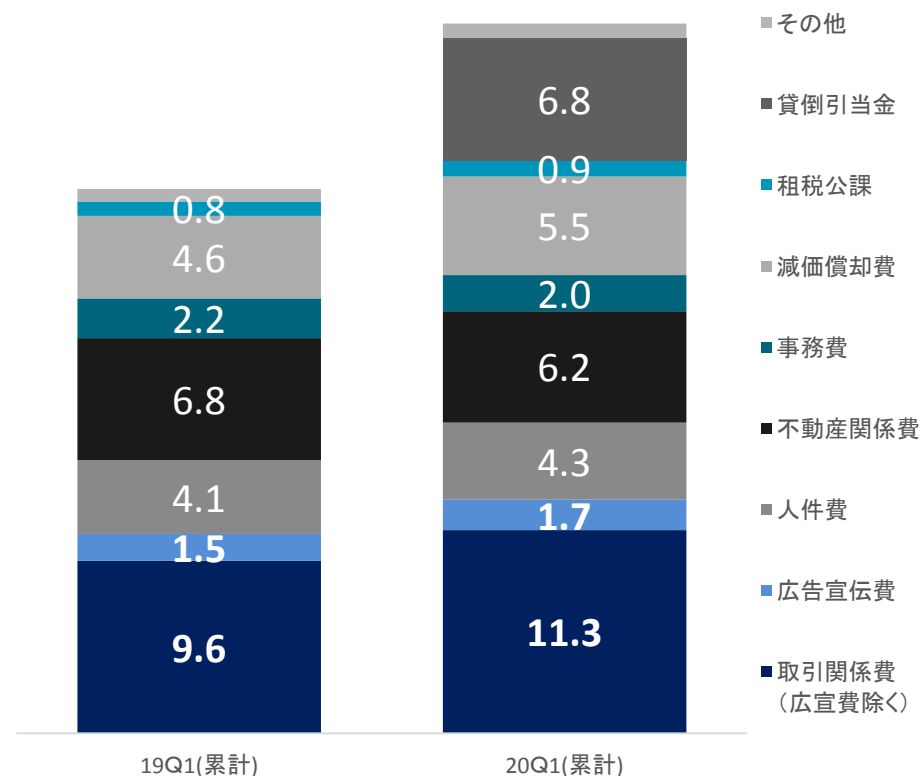
※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

- 取引増加に伴い取引関係費+1.7億円も、他販管費は抑制
- 全体で+9.3億円増加の主な要因は、貸倒引当金繰入+6.8億円。今後回収に努めていく。

販管費増減内訳(億円)



販管費内訳構成(億円)

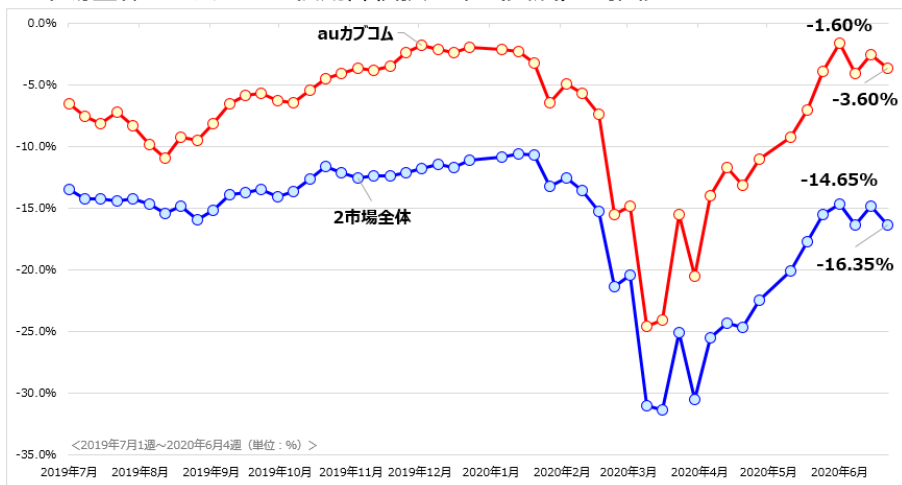


※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

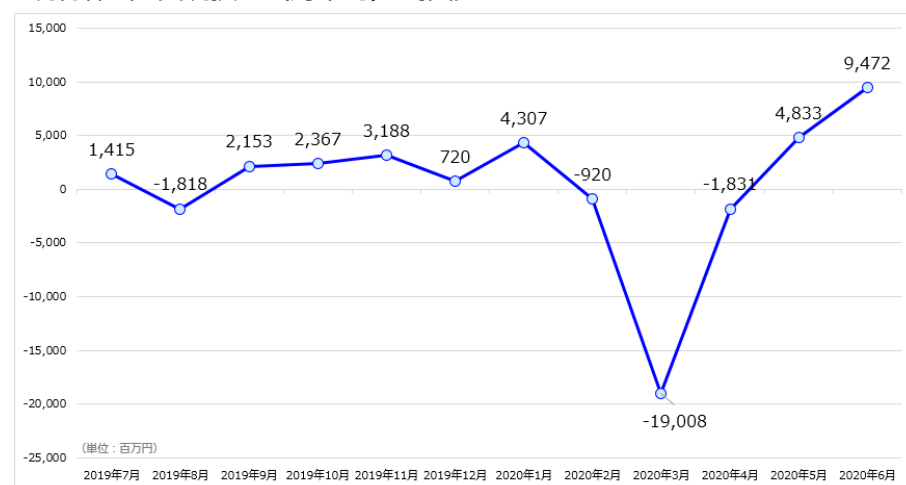
※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)。減価償却費は、システム投資によるものが主

- 信用評価損益率(買残)の二市場全体との較差が6月に過去最大に拡大、その後も高水準を維持
- 実現損益(月平均)は、現物・信用ともにコロナショックから大幅に改善

＜二市場全体とauカブコムの信用評価損益率（買残）の推移＞



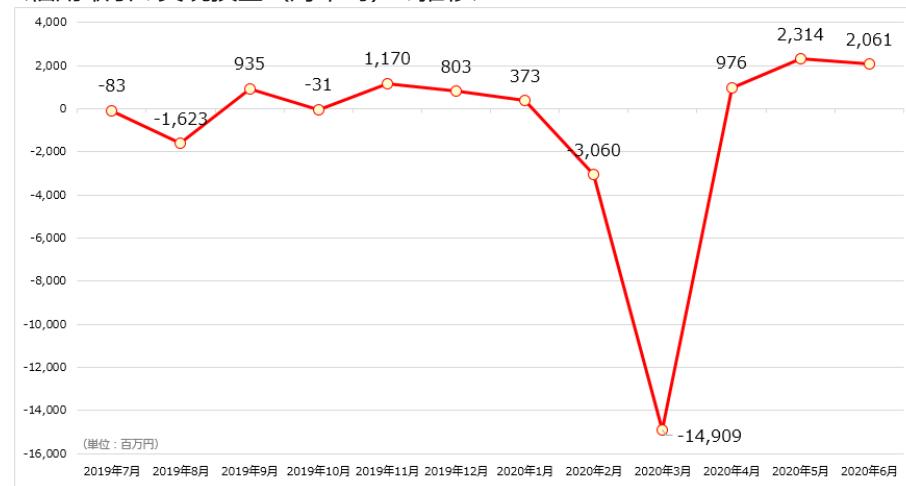
＜現物株式の実現損益（月平均）の推移＞



＜信用評価損益率（買残）二市場全体との較差の推移＞



＜信用取引の実現損益（月平均）の推移＞



※取引所公表数値等より当社作成。データは一般信用を含んだデータです。

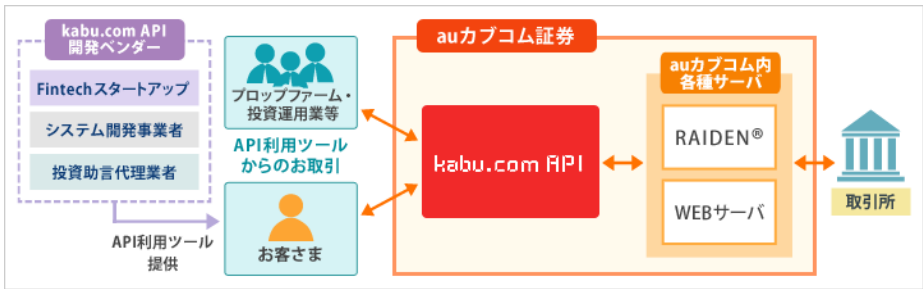
第1四半期の取組紹介

- Kabu.comAPIを進化させ、投資信託APIをリリース、さらなる事業展開の加速を計画中
- リアルからオンラインにシフト、お客様からの質問に回答するライブセミナーの拡充中

A P I によるas a service化

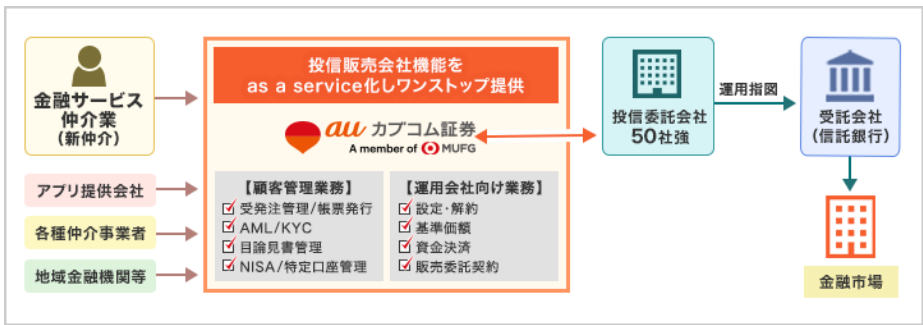
Youtubeによる投資情報のソーシャル化

<kabu.com API【株式・先OP】（2012年4月提供開始）>



Evolution

new ! <kabu.com API【投資信託】（2020年7月提供開始）>



Evolution

API事業展開をさらに加速!

<チャットによるソーシャルコミュニケーションを交えたライブ配信>

(毎週火曜日20時~)



(スペシャルライブ)



(毎週木曜日20時~)



(個人投資家向けIRセミナー)



<見逃しても、いつでも視聴可能な充実したオンデマンド動画>

(こちカブ)



(投資信託セミナー)



日付	タイトル
4月7日	新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言に伴う当社の対応に関するお知らせ
4月17日	お客様サポートセンターの営業時間短縮のお知らせ
4月21日	auカブコム証券×ファンズ株式会社「Funds for auカブコム」検討開始のお知らせ
5月26日	お客様サポートセンターの営業時間変更のお知らせ
5月28日	auカブコム証券、PTS信用取引開始のご案内
5月29日	kabuステーション®でETF & 信用取引買方金利実質無料キャンペーン
5月29日	「auマネーコネクト優遇プログラム」へリニューアルauじぶん銀行とauカブコム証券口座をセットで使うと円普通預金金利がいつでも10倍から100倍にUP！
6月1日	一般社団法人「ファイナンシャル・アドバイザー協会」へ、法人賛助会員として入会
6月8日	auカブコム証券×三菱UFJ信託銀行「つかえて安心」サービス開始と更なる協業強化に向けた取り組みについて
6月12日	機動戦士ガンダムコラボ企画第4弾始動！ kabuステーション®に新たな2つのバージョンが登場
6月19日	当社お客さまの「信用評価損益率（買残）」の二市場合計との較差が13.1%ptと過去最大に

https://kabu.com/company/pressrelease/20200313_1.html

auカブコム証券×ファンズ株式会社「Funds for auカブコム」検討開始のお知らせ

～資本業務提携及びファンドの共同販売に向けた合意書締結～

2020年4月21日 お知らせ

auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤正勝、以下「auカブコム証券」）は、2019年12月に貸付投資の「Funds」を運営するファンズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：藤田雄一郎、以下「ファンズ」）へ資本参加いたしました。また、今後ファンズが提供するファンドの共同販売およびauカブコム証券の関連企業を組成企業とするファンドの組成について検討すべく、業務提携に向けた協議に関する合意書（以下、「本合意書」）を締結いたしました。

検討開始の背景

auカブコム証券は2019年12月1日、「カブドットコム証券」から「auカブコム証券」へ社名を変更いたしました。auカブコム証券は、「すべてのひとに資産形成を。」の合言葉を社会的使命（ミッション）とし、すべてのひとが、もっと自由に豊かな投資活動ができるよう、今後も様々なサービスを提供し、顧客基盤の拡大を図るとともに、お客さまの投資成績向上を徹底追及してまいります。すべてのひとに資産形成を身近に感じていただくために、auカブコム証券ではファンズの提供する「円建て」「短期運用」「スマホ完結型商品」といった国内において不足している（2020年3月、ファンズ調べ）サービスとauカブコム証券の強みである顧客基盤とを融合した「Funds for auカブコム（以下、「本サービス」）」の構築を検討開始するものです。

協業について～Funds for auカブコム～

auカブコム証券ではファンズと本合意書の締結により、2020年中のサービス提供開始を目標として、以下二点について両者で協議を進めてまいります。

- (1) 本サービス及びFundsを通じたファンド持分の共同販売
- (2) Fundsの仕組みを用いたauカブコム証券による新規ファンドの組成

Funds（ファンズ）について

ファンズは、個人が1円から上場企業グループへの貸付投資ができるオンラインプラットフォーム「Funds」を提供しており、すでにサービス開始から約1年で会員2万人を獲得しております。ファンズでは「未来の不安に、まだない答えを。」というミッションを掲げ、スタートアップらしく柔軟かつ機動的に時代を捉え、「Funds」を通じてまだ世の中のない価値を創造しております。

https://kabu.com/company/pressrelease/20200522_1.html

auカブコム証券、PTS信用取引開始のご案内

～PTS信用取引（制度・一般）を2020年7月中旬（予定）より提供～

2020年5月28日 お知らせ

auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤正勝、以下「auカブコム証券」）は、2020年7月中旬（予定）より国内株式の信用取引において、PTS市場（日中取引）の「チャイエックス・ジャパンPTS（以下、Chi-X）」と「ジャパンネクストPTS（以下、JNX）」での信用取引を開始いたします。

auカブコム証券では、2018年8月よりSOR（スマート・オーダー・ルーティング）をご利用いただくことで、お客様の現物株式のご注文をPTS市場へのお取次をしておりますが、このたび、信用取引の制度信用取引、一般信用取引においてもSORを利用した複数市場※1での注文取次に対応いたします。複数市場※1と比較して最良価格での約定が期待できることから、SORを利用したPTS現物株式取引では、総額約6,150万円※2の価格改善効果を実現いたしました。信用取引におきましても売買益に直結する実績になります。是非この機会にPTS信用取引をご活用ください。

「すべてのひとに資産形成を。」の合言葉を社会的使命（ミッション）とし、すべてのひとが、もっと自由に豊かな投資活動が出来るよう、今後も新しい体験価値を創造し、お客様の投資成績向上に貢献してまいります。

※ PTS信用取引のリリース日時が決定次第、サービス詳細等と合わせて、当社ホームページにてお知らせいたします。

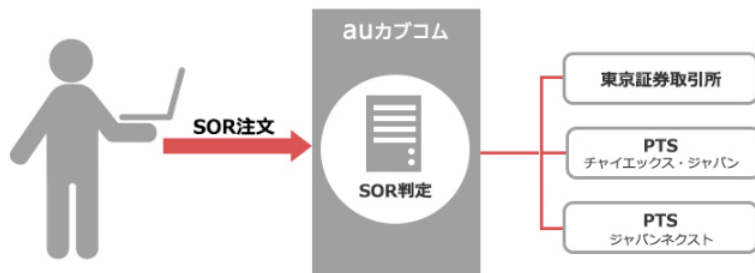
※1 信用取引注文はタークプールには回送しません。

※2 2018年9月1日～2020年3月31日の期間、PTSにおいて約定した価格改善効果を集計

SORご利用による主なメリット

SORをご利用いただくことで、お客さまご自身で複数市場の気配を検索しその都度発注する必要はなく、自動で東証に加えPTS2市場（Chi-X、JNX）の最良気配を検知し注文することが可能です。これにより、約定価格の改善効果に加え、成行、指値などの注文種類を問わず約定確率が向上する可能性がございます。更に当社は、他国内ネット証券のSOR機能とは一味違う機能も搭載しておりますので、是非お客様のお取引にお役立てください。

SOR注文を利用すれば、自身で気配を検索することなく自動で最良気配を検知し注文することができます。



https://kabu.com/company/pressrelease/20200529_2.html

「auマネーコネクト優遇プログラム」へリニューアルauじぶん銀行とauカブコム証券口座をセットで使うと円普通預金金利がいつでも10倍から100倍にUP！

～さらにauカブコム証券の新規口座開設と入金で現金5,000円プレゼント～

2020年5月29日 お知らせ

auじぶん銀行株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：白井 朋貴、以下 auじぶん銀行）と、auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤 正勝、以下 auカブコム証券）は、2020年6月1日から、双方のお客さまの資産形成のサポートを強化するために、現在好評いただいている「円普通預金優遇金利プログラム」を「auマネーコネクト優遇プログラム」へ名称変更するとともに、さらにおトクな特典へとリニューアルします。

旧「円普通預金優遇金利プログラム」では、auじぶん銀行の円普通預金金利（税引前：年0.001%）を10倍（税引前：年0.01%）として提供していましたが、「auマネーコネクト優遇プログラム」では100倍（税引前：年0.10%）に大きく引き上げて提供します。証券口座との連携による優遇後の円普通預金金利は、インターネット銀行において最高水準です（注）。（2020年5月29日現在）

auマネーコネクト優遇プログラム

銀行と証券、つなげば入出金が便利になる他 こんなにおトク！

<p>1</p> <p>auじぶん銀行の円普通預金金利</p> <p>年0.10%</p> <p>（税引後 年0.07%）</p>	<p>2</p> <p>はじめてauカブコム証券へ1回5万円以上入金</p> <p>現金5,000円プレゼント</p>
--	--

「auマネーコネクト」は、従来よりご提供してきた、auじぶん銀行とauカブコム証券の2つの口座を連携するサービス「auじぶん銀行自動引落（口座振替）※リアル版」の愛称として、2020年6月1日より使用します。この「auマネーコネクト」を設定することで、auじぶん銀行とauカブコム証券間の資金移動がより便利になります。

また、新たな特典として、2020年6月1日以降に、auじぶん銀行経由でauカブコム証券の新規口座開設を行い、はじめてauじぶん銀行からauカブコム証券口座へ1回5万円以上の入金をしていただいた場合、もれなく5,000円をプレゼントします。

- 企業・開示情報 <https://kabu.com/company/>
- 決算短信・決算説明資料 https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html
- 口座数・約定情報等の推移 https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html
- 顧客投資成績（信用評価損益率）の推移 https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html
- システムレポート https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html
- 店頭FX取引に係るリスク情報に関する開示 https://kabu.com/company/disclosure/fx_risk/default.html

■お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

- ※証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書商品毎 および目論見書補充書面投資信託をよくお読みください。
- ※信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える 大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。
- ※外国為替証拠金取引FXは、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。
- ※外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織発行体が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。
- ※お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。
- ※各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ<https://kabu.com/cost>等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。
- ※掲載情報の最新情報は当社ホームページ<https://kabu.com/>にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。 <https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>